



加島五千石総鎮守

米之宮浅間神社

社報

令和6年
秋号

10月1日発行



米之宮浅間神社

神様の衣替え

ほのかにひんやりと吹く風が肌にしみ、木々の葉も鮮やかに色づき始め、秋の訪れを感じる季節になつてきました。秋は季節の変わり目であり、衣替えをされる方も多いでしょ。

実は神様にも衣替えがあることをご存じでしょ
うか。私たちが衣替えをおこなう時期と同様に五
月と十月に伊勢の神宮では、神様がお召しになる
「神御衣」を新たにお造りし、古いものと取り替
える神御衣祭（更衣祭）と呼ばれるお祭りがおこ
なわれます。

神御衣祭は神宮の祭祀の中でも古い由緒を持つ
お祭りで、皇大神宮と荒祭宮へ和妙と呼ばれる絹
と荒妙と呼ばれる麻を反物の形で、御糸、御針な
どの御料とともに奉っています。毎年欠かさず、
神々に新たな神御衣を奉る姿には、さらなる神威
の発揚を期待する人々の願いが込められているよ
うに感じられます。

更衣祭は神宮だけではなく熱田神宮や賀茂御祖
神社、太宰府天満宮など全国各地の神社でおこな
われます。皆様方には、このような季節のお祭り
を通し、秋の訪れを実感していただくとともに、
私たちの生活と神道には古くから関わりがあるこ
とに注目してみていただければと思います。



新嘗祭

新嘗祭は十一月二十三日に宮中および全国の神社で行われる収穫祭で、豊穣を祈る二月の祈年祭と対になるお祭りです。その起源は稻作開始の弥生時代に遡ると考へられ、「日本書紀」神代紀などにも「新嘗」という言葉を見ることがあります。御神恩に対する感謝の祭りとして天皇陛下自ら五穀豊穣を神々に奉告され、これに倣つて全国の神社でも新嘗祭が執り行われています。



お酒について

お酒は神前にお供えする神饌の中でも、お米から直接造られるため、特に重要なものとして考えられています。神事に見られるお酒は単なる嗜好品ではなく、神様にお供えした「御神酒」を私たちがいただくことにより、神様と人々はもとより、人と人との結び付けてくれる役割を果たしてきました。このように神様とお酒は深い関係にあります。



神社の豆知識

皆様は稻荷神社にお参りした際、狐像が何か口にくわえている姿を見たことはありますか。

各地では氏神の神社や祠、各家の屋敷神としてお稻荷様が祀られていますが、お稻荷様は食物の神様としても知られています。それは稻荷神社の御祭神（ウカノミタマノカミやオオオゲツヒメノカミ、豊受大神など）が五穀や食物を司る神様として祀られていることから農耕神、穀靈神としての御神格があるからです。その由来からお稻荷様の使いとされる狐を表した像が穀靈を象徴する玉や、稻束を刈る鎌をくわえています。また、穀物を納める米蔵の鍵をくわえている狐像もありますが、それは穀靈神であるとの同様に家財を守る神、家内安全の神であることに由来しています。

お稻荷様



連絡先 米之宮浅間神社 社務所
〒四一六一〇九〇六

静岡県富士市本市場五八二

☎〇五四五(六二)〇八一七
㈹〇五四五(六二)〇八二九

詳しくは
こちらから

神社や神道について詳しくはこちら
のQRからご覧ください。

